※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	（学）異文化研究	単位数	２単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

体験学習を通じて、韓国朝鮮の文化を理論と実践の両面から理解します。また、私たちの身近な外国にルーツを持つ人々のことについて学習し、異文化を理解して交流することについて考えます。

２　学習の到達目標

異文化を理解し、異なる習慣や文化を通して自国の文化や歴史を見つめなおす。異文化を積極的に受容して多民族共生社会の実現に向けて自分のできることを考える。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・韓国朝鮮の民族音楽の打楽器について、名前や楽器の音の特徴を理解する。 ・在日外国人の生活や法的地位について理解する。	・韓国朝鮮の民族音楽の打楽器の楽譜を読み、演奏する。 ・在日外国人が日本で生活するにあたってどのような問題があるかを考える。	・異文化を積極的に受け入れて楽しむ。 ・在日外国人との違いを認め合い、「他民族共生」の実現に向けて努力する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１０月～１１月	サムルノリ	韓国朝鮮の民族音楽であるサムルノリに使う打楽器の名前、音の特徴、楽譜、演奏実技	a:サムルノリの楽器について、名前や音の特徴を理解している。 b:サムルノリの楽譜を見て演奏ができる。 c:韓国朝鮮の民族音楽について積極的に理解しようとしている。	小テスト	実技テスト	振り返りプリント
１２月～１月	在日外国人	日本に住んでいる外国人の法的地位、生活の様子、ルーツのある国の文化	a:在日外国人の法的地位やそのルーツがある国の文化について理解している。 b:在日外国人との違いを受け入れて「他民族共生」を実現するにあたっての課題を考える。 c:在日外国人との「他民族共生」について、自分の考えを発表する。	小テスト 定期考査	授業内発表	授業内発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度